

#### 4. 定期点検

- (1) 定期点検を1年に1回以上行って下さい。  
 (2) 定期点検方法は、2. 設置方法の注意事項を再確認の上、3. 作動テスト方法に従って行って下さい。

#### 5. 保証期間

この遮断弁の保証期間は、発送後1年です。この間に発生した製造上の責任による故障の場合、本製品の無償交換を行います。

#### 6. 定期交換

この遮断弁は製造後10年経過したものは、性能低下が予測されますので新品と交換して下さい。

#### 連絡先

株式会社 桂精機製作所 〒221-0052 神奈川県横浜市神奈川区栄町1番地1

TEL 045-461-2334(代)

#### 保証書

このたびは緊急遮断弁をお求め頂きありがとうございます。この製品は厳重な品質管理及び検査を経て、弊社が責任を持って製造したものです。

**メーカー保証** 通常の使用において万一、製品に不具合が生じた場合、お求め後1年以内に限り無償修理又は新品と交換します。1年以上経過した製品は有償修理、又は有償交換となります。

**免責** 次の場合、期間内であってもメーカー保証は適用されません。

- 1) 分解又は改造をした場合
- 2) 誤った使用方法や取扱上の不注意による場合
- 3) 風水害、地震、雷などの天災及び火災、塩害、腐食性ガスなどによる不可抗力の場合
- 4) その他製造業者の責任と認められない場合

**安全使用期間** この製品を安全にお使いいただけるのは製造後10年以内です。又、期限内でも性能等に異常が生じたときは新品と交換して下さい。

#### PL(生産物賠償責任)保険加入済み

この製品は生産物賠償責任保険が付帯されております。この製品の欠陥が原因で生じた事故(日本国内で発生した事故に限る)により、身体・生命を害し、または財物を損壊したことについて、メーカーに法律上の損害賠償責任が生じた場合、当該保険により補償いたします。

お客様 お求め日 年 月 日

〒 TEL

製造元 株式会社 桂精機製作所  
 〒221-0052 神奈川県横浜市神奈川区栄町1番地1  
 TEL 045-461-2334(代)

ガス販売事業者  
 ガス工事施工者  
 のみなさまへ

## 緊急遮断弁 V-32, 40, VM-32, 40 取扱説明書

取付工事は、ガス設備士の資格を有する方が行って下さい。

この取扱説明書は主としてガス販売事業者・ガス工事施工者の方を対象に1. 製品説明、2. 設置方法の注意事項、3. 作動テスト方法、4. 定期点検、5. 保証期間、6. 定期交換、連絡先、保証書の順に作成してあります。

お客様に安全・快適にガスをご使用いただくため、この取扱説明書を良く読んでガス設備の安全を図って下さい。

なお、この説明書で  は警告、 禁止を表わしたものです。

#### 1. 製品説明

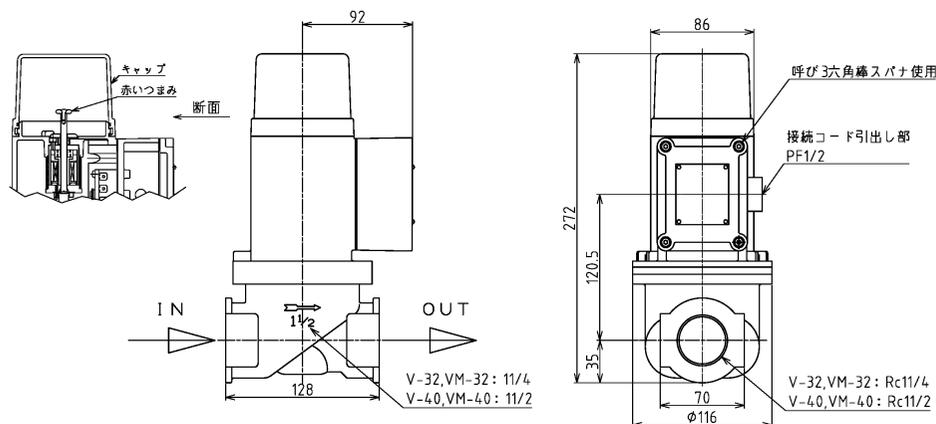
この製品は、地下街や地下室、ビル、工場、病院、学校など、日常ガスを使用されているお客様のガス設備に設置するガス緊急遮断弁です。ガス漏れの発生や、地震または火災発生などの緊急時に使用場所のガスを瞬時に遮断できる機能を有しているほか、集中監視盤との接続や、簡易自動消火装置との接続、地震の際の感震器等の接続が可能です。建物全体の安全管理や個々の店舗の安全管理にも適しております。

製品には「保証書」と「取扱説明書」を同梱してありますので確認して下さい。

#### 主な仕様

型 式	V-32	V-40	VM-32	VM-40
接 続 口 径	Rc11/4	Rc11/2	Rc11/4	Rc11/2
流 量 (空 気)	22 m <sup>3</sup> /h (圧損 0.1kPa)	25 m <sup>3</sup> /h (圧損 0.1kPa)	190 m <sup>3</sup> /h (圧損 10kPa)	240 m <sup>3</sup> /h (圧損 10kPa)
耐圧試験圧力	0.3MPa		0.3MPa	
気密試験圧力	外部漏れ 0.15MPa 以上、 内部漏れ 0.5kPa 及び 10kPa		外部漏れ 0.3MPa 以上、 内部漏れ 0.5kPa 及び 0.15MPa	
最高使用圧力	10kPa		0.1MPa	
使用温度範囲	-20℃～60℃			
本 体 材 質	FCD-450-10			
許容遮断回数	500 回			
遮 断 信 号	9V 以上 14V 以下 470μF コンデンサー放電による			
復 帰 操 作	手動による復帰			
適 合 操 作 盤	KM-641A、KM-621B			

## 遮断弁外形寸法図



## 2. 設置方法の注意事項

遮断弁の設置については、次の点に注意して下さい。

### 警告

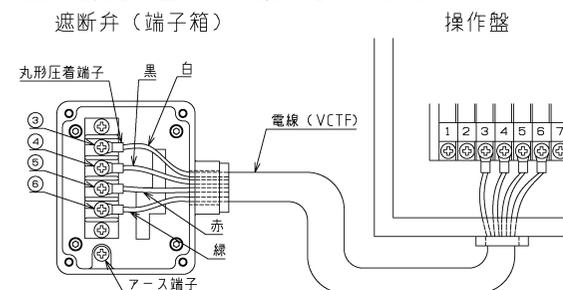
1. 設置場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物、人などぶつかったり、落下したりしない場所</li> <li>・保守点検、操作等の容易な場所</li> <li>・みだりにイタズラされない場所</li> <li>・雨、水等が直接かからない場所（凍結、結露及び雪害のない場所）</li> <li>・通気性が有り、ガスの滞留しない場所</li> <li>・車や機械の振動を受けない場所</li> </ul>
2. 設置姿勢	・水平または垂直（キャップ上または横向き）
3. 固定方法	・固定支持間隔は遮断弁の前後付近
4. 遮断弁の外観	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塗装のハガレ、錆、傷等の有無</li> <li>・キャップの締め具合</li> </ul>
5. 気密試験	・外部漏れ試験 ・内部漏れ試験
6. 配線の長さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配線の長さは信号線の往復の総線間抵抗が <math>2\Omega</math> 以下で、可能な限り抵抗を小さくするように太い線を選ぶこと</li> <li>・外部閉止機能を利用して外部からの閉止接点信号で弁を遮断する場合は、その信号線の往復の長さも計算に入れること「(備考)」を参照して下さい」</li> </ul>
7. 電線の保護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遮断弁と操作盤の結線は電線管等を使用して保護すること</li> <li>・尚この場合、各接続部から雨水等が浸入しないよう注意すること</li> </ul>

8. 端子台への接続状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接続端子番号を照合すること</li> <li>・ビスの緩みがないこと</li> </ul>
9. 線間抵抗	・テスターを用いて操作盤の No3 と No4 端子間の抵抗を測定し、 $8\Omega$ 以上 $10\Omega$ 以下であること（遮断弁の内部抵抗も含む）
10. 電線管、ケーブル等の接続方法	・雨水等が接続部から浸入しないように、コーキング剤等で処理してあること

(備考) 各電線の太さによる最大配線可能長さの一覧表は次によります。

0.5mm <sup>2</sup>	0.75mm <sup>2</sup>	1.25mm <sup>2</sup>	2.0mm <sup>2</sup>	3.5mm <sup>2</sup>
25m	37.5m	62.5m	100m	175m

遮断弁と操作盤の結線は下図に従って接続して下さい。



## 3. 作動テスト方法

設置工事が終了後及び定期点検は、次に従って製品が確実に作動することを確認して下さい。

[手動テスト方法]

- (1) キャップを左に約  $45^\circ$  回してキャップをはずして下さい。赤いつまみが現れます。
- (2) 赤いつまみを押して下さい。弁が閉まります。
- (3) ハンドルをゆっくりと動かなくなるまで引き上げて下さい。弁が開きます。
- (4) 上記操作を 3 回行って下さい。

[操作盤との連動テスト方法]

- (1) 操作盤により遮断弁を作動させて下さい。
- (2) 遮断弁が作動すると同時に遮断弁内部に組み込まれたリミットスイッチが作動して、操作盤に信号を送ります。
- (3) 信号を受けると操作盤のランプやブザーで知らせます。
- (4) ブザーが鳴動する操作盤の場合は、リセットボタンで止めて下さい。尚、弁を手動で開けない限りランプはそのままの状態です。
- (5) ハンドルをゆっくりと動かなくなるまで引き上げて下さい。弁が開きます。
- (6) 上記操作を 3 回行って下さい。

⊘ このテストは、製品を配管に接続してから行って下さい。製品を接続しないで行いますと、故障の原因となります。また、無理な方向にハンドルを動かさないで下さい。